



昨冬はぐらと冷え込む日が少なかつたせいで、4月に入っても“平成最後の寒の戻り”が何度も続きました。そのお陰で桜も長持ちしましたね。それを踏まえても、東京の春は短いですね。東北生まれ、雪山育ち、典型的な“おのぼりさん”の私は、何年経ても東京の春は流れが早く驚かされます。さて、今月のテーマは、「桜にまつわる話」です！

第77号(H31年4月)

毎月20日頃発行  
www.ny-tokyo.com

先日、出張先から帰国する機内で“ボヘミアンラプソディー”の映画を見ました。実は昔からQueenのファンだったので、この映画は本当に感動しました。もうリリリで、あの名曲の歌々が頭の中を、きて私の心を満たし、あつという間ト帰国してしまいました。

大の日本好きだったQueen。実は日本語で歌っている曲があるのです！「ロディーもさかのさくらへさくらへ」です。皆さん、是非探して聴いてみて見よ。 吉川



台湾でなかなか桜がなくて、桜をみるために日本にくる人が結構います。なので、桜と言えは、日本！っていうイメージが強いですね。



リン



桜と言えは「開花、花見、などが一般的に思われますが、桜が散る「花雨」も美しいです。白と赤い桜、青い空、この風景を期待していろ。 CEE



卒業とか、入学とか、何か思い浮かぶがあります。3/20の  
嫌団が嫌いな自分と、皆がワキワキと不意におね！  
桜=春=現場の熱量の汗を拭き、桜が舞い降り始める季節、自分が自分らしい花を！  
今年の桜は、新スニシの“ひまり”です。南に吹く風、命がけで咲く桜のまろ

桜はその美しさは元より、儚さが人々の心を捉えるのがおもしろい

— 明日ありと思う心の仇桜 夜半に嵐の吹がぬものかは —

— 散る桜 残る桜も 散る桜 —

ちは





桜の季節になりました。咲きざかりの桜を見ると、美しいなあと感じます。美しいですが、咲く時間は短いです。美しいものは珍しいです。その珍しさを大切に。

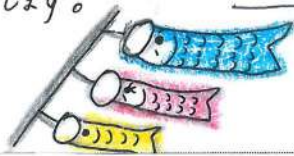


# 桜

庭(サクラバ)と申します。

実家の庭に桜の木は

1本もありません。



花見に行こう行こうと毎年思いますが、結局今年も見に行けませんでした。通勤電車の窓から眺めるのが今年が続いていきます。

竹生

少々寒い日もありますが、3月下旬から4月上旬にかけての時期は日本で最も美しい季節かと思われます。特にソメイヨシノは咲いている期間は短く、温かくなり春の嵐となったら、一回も花見が出来ない週末となります。しかし、今年の横浜大岡川畔の桜は今だに5部程花が残っております。やはり花見に勝るものはありません。

Nakashima



桜が見頃になる時期、ちやうど僕の花痴症の症状も花盛り)...  
 大なり花見はいいけど、近隣の花見を満喫しつゝもなから帰って来ると目がややくたつてお山して二回り巨くなります。

下島



## 弘前の桜まつりのお話



日本一の呼び名が高い(と勝手に思っている)、青森県弘前市の桜まつり。2014年より弘前城の工事が行われている為、一部規制があるかとは思いますが、それを考慮しても素晴らしいです。  
 ←弘前城と、木女、岩木山のコラボレーションがたまりません! 屋台のオヌメはみとおどんです。

弘前の桜を初めて見た人のほとんどが、「こんなに美しい桜は見たことない!」と感動するそうです。私も勝手に日本一と思っている程ですから、この桜を超えるものとの出会いはまだありません。



一番の見所は、散った木女が水面に浮かぶ『花筏』(はないかた)です。満開時期か、散り初め時期か、どちらを見るか迷っちゃいますね。ぜひ一度訪れて下さい!